

県小学生プログラミング大会

登佐古君(5年 板野東)グランプリ

電子タグ活用 蜂の接近を告知



登佐古悠真君

くとセンサーが反応して住民にメールで知らせる仕組みを作った。「多くの人の悩み事や社会の問題を解決できるよう、プログラミングをもっと勉強したい」と述べた。

コンクールは、プログラミング教育の普及と推進を目的に開かれ、今年で3回目。登佐古君は来年3月5日に東京で開催される「全国選抜小学生プログラミング大会」(全国新聞社事業協議会主催)に県代表として出場する。(渡辺和音) 他の入賞者は次の皆さん。

プログラミングのコンクール「徳島県小学生プログラミング大会」(徳島新聞社主催)の作品発表会と表彰式が3日、北島町高房の徳島新聞印刷センターであり、入賞した5組が表彰された。グランプリは板野東小5年の登佐古悠真君(10)が選ばれた。

れた。徳島大と鳴門教育大、徳島文理大、四国大の教員ら8人が審査。1次審査を通過した5組が発表会に臨んだ。

発表会では、児童が作品

の動画や画像を示しながら、創作のきっかけや工夫した点を説明。登佐古君はセンサー付き電子タグ「MESH(メッシュ)」を活用し、民家の庭に蜂が近づ

【準グランプリ】藤井壮真(福島6年)、榮晃士朗(大松5年)

【奨励賞】TEAMサニードン、竹村夏希(川内北4年)

◇

後日詳細を掲載します。



TOKUSHIMA
SHOGAKUSEI
PROGRAMMING
CONTEST